



若澤佑典文学部助教
(日吉・英語)

<新年にも学問探究は進行中...>

すべては「挨拶」に始まり、「挨拶」に終わるとも言われます。そうならば「書き初め」ならぬ「読み初め」も然り。

2025年最初の読書会は「挨拶」について考え、場合によっては実践してみたいと思います。挨拶には固有名への呼びかけがあり、反復を通じた情動的紐帯があり、信頼を担保する場の経験が伴います。挨拶をめぐるエレメントを探っていくと、なんだか哲学的な気分になってきますが、日々の生活経験を異化する機会ともなるでしょう。熊野純彦・佐藤健二編『人文知3：境界と交流』（東京大学出版会、2014年）を紹介しながら、新しい年に知の冒険を再開したいと思います。

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参照しつつ発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回のみの単発参加の両方を歓迎します。

日吉の1~2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集まってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です！

挨拶の交流圏
来往舎からの謹賀新年

1月14日(火)

13:00~

14:30 (予定)

※途中入退室可

場所：日吉キャンパス
来往舎1階103/104

対象：塾生・教職員

(卒業生、高校生も
来場を歓迎します！)

★事前登録不要★

問い合わせ：

toiawase-lib@adst.keio.ac.jp